

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
B-141	22-416	厚生会 道ノ尾病院 福嶋 翔 独立行政法人国立病院機久里浜医療センター 松下幸生
題名 (原題/訳)		
Alcohol use disorder-associated structural and functional characteristics of the insula アルコール使用障害に関連した島の構造的および機能的特徴		
執筆者		
Manuweera T, Kisner MA, Almira E, Momenan R.		
掲載誌		
J Neurosci Res. 2022 Nov;100(11):2077-2089. doi: 10.1002/jnr.25113. Epub 2022 Aug 10.		
キーワード		PMID
アルコール使用障害、機能結合性、人類、島、MRI、構造的結合性		35946335
要 旨		
<p>島領域に関する現在の理解に基づくと、慢性的なアルコール使用による島への影響は、感覚-運動、社会-情動、認知機能の統合に影響を与える可能性がある。アルコール使用障害者におけるこれらの差異について、慢性的なアルコール使用に関連した構造的および機能的な差異を説明する包括的な理解はなされていない。本研究の目的は、アルコール使用障害者における前部および後部島皮質におけるこれらの差異を調査することである。</p> <p>アルコール使用障害患者 75 名（女性 27 名）と年齢を一致させた健常対照者 75 名（女性 39 名）の島皮質体積、形態学、白質構造結合、安静時機能結合を調べた。</p> <p>その結果、アルコール使用障害者では、主に前部領域で構造的な差異が、島皮質では前部と後部の両方で機能的結合の差異が観察された。また、前頭葉、頭頂葉、後頭葉、帯状回、小脳、側頭葉の各領域との結合性に差異が見られた。</p> <p>これらの結果は、主に島皮質前部での差異を示した先行研究と一致するが、高次認知・情動課題時に関与する脳領域と島皮質前部の結合の差異を示唆する既存の文献にも貢献するものであった。</p>		